

7月15日1978・No.7

# 京橋の印刷

発行所  
 東京都印刷工業組合  
 京橋支部  
 〒104 東京都中央区新富 1-16-8  
 日本印刷会館3F 電話 552-1855  
 印刷所 八千代印刷株式会社



京橋大根河岸・由来 遠く寛文のはじめ江戸数寄屋橋辺に処の人数名が、ささやかな青物の市を立て営みを始めたと、遠近の村々より作物が多く集り、これらの店はゆききの人、或いは附近の人人にこれを売り、数年にして店の数は増加し市場の形も整い江戸町民には無くてはならぬものとなった。その後火災のため東海道の要路であり、かつ水運の便のよい京橋川北岸紺屋町へ移転した。またまこの市場へ大根の入荷が殊更夥しいので、世の人は大根河岸と呼び、遂に京橋大根河岸市場と称えるようになった。この市場のほかは駒込市場および果実を主とした神田多町の

市場が江戸の有名な青果市場であった。こうして二百余年を経た京橋大根河岸市場は、明治一〇年京橋川南岸の太刀売と言う甘藷問屋数名を加入させ、問屋三七軒、仲買一七名が認可を得て組合を設立し大市場としての規模を完成する。大正一二年九月関東大震災の厄難に遇うが組合員は鋭意復興に努力し以前にも優る盛況で、問屋六八軒、仲買百五名になった。昭和一〇年二月中央卸売市場法施行に伴い築地の本場に移転。旧京橋青果市場(大根河岸市場)開設以来二百八〇余年の歴史を回顧し、昭和三四年六月碑が建立された。△所在・京橋三一八先▽

一本ではだめだが、それを三本交又することによって立つ。毛利元就の戒しめではないが、どうも人間一人の力・考え方だけではしれたものである。同業組合設立・存在の意義もこの辺にあると思う。従って組合員は、組合事業に参加することと意義があり、お互いの知識・経験がこの交流を通して、それぞれの企業の発展につながる。「果報は寝て待て」式では通用しない。「運とは運ぶものなり」といわれるが、積極的な参加意識と自助努力こそ「果報」のころがりこんでくる要因ではないだろうか。

## 巻頭一言

## 目次

表紙(京橋大根河岸).....	1
巻頭一言.....	1
支部推せん本部各種委員会委員決る.....	2
第一回東京青年印刷人協議会.....	3
組合学校.....	4
営業マン教育―第三回―.....	6
新地区長の横顔.....	
湊地区長 田島 弘さん.....	3
新富地区長 神林 克明さん.....	5
月島地区長 安西 定治さん.....	7
随筆「八親会」(一).....	8
就任のごあいさつ.....	
本部長務理事 久保田幸一郎.....	10
融和と協調に徹して.....	
製本工組京橋支部長 牧野佐武朗.....	10
工団連総会・宿泊研修.....	11
京橋地区のページ.....	12
東京印刷営業士会誕生.....	14
組合員の声・地区だより.....	15
支部の動き・編集後記.....	16

# 京橋支部推せん

## 本部各種委員会委員決定

東印工組昭和五三年度の事業計画を基本として、定款第五条に基づき理事会の諮問機関としての一二の各種委員会委員の推せんを本部より要請を受けた執行部は次の方々を推せんし、それぞれ本部署長より委嘱をされ就任される事が決定いたしました。

### 計画推進委員会

小宮山敬之(支部長・小宮山印刷)

石曾根啓悦(副主席・八千代印刷)

### 夏物印刷委員会

山田明光(副主席・日英舎印刷)

小葉忠昭(入船地区長・小葉印刷)

### 商業印刷委員会

浅野知一(湊地区幹事・協和美術印刷)

田島一弥(新川地区長・久栄社印刷)

代理 櫻井敏治

### 事務用印刷委員会

浅野秀夫(監査・佛法文社)

神林克明(新富地区長・神林印刷)

### 小企業振興対策委員会

長島伸行(副主席・長島印刷)

田島 弘(湊地区長・聖文社印刷)

### 資材対策委員会

若林 亮(副主席・永井印刷工業)

坂田利正(京橋地区長・秀英堂紙工印刷)

### 労務委員会

大谷家清(副主席・柳一九堂印刷)

森山哲雄(銀座地区長・柳一誠堂森山印刷)

(刷所)

### 教育委員会

齋藤喜徳(顧問・柳齋藤正文堂)

若林 亮(副主席・永井印刷工業)

神田半三(築地地区長・永和堂)

公害防止対策委員会

山田光明(副主席・日英舎印刷)

### 組織委員会

篠倉鉄郎(副主席・柳第一印刷)

小山英美(副主席・高千穂印刷)

東京青年印刷人協議会

小倉昭夫(柳相互美術印刷本社)

尾島賢一郎(京橋地区幹事・三徳印刷)

三好 徹(三好印刷)

岸 健作(柳岸印刷)

安西定治(月島地区長・安西一誠堂印刷) 厚生委員会

児玉正己(参与・信濃印刷)

小倉武治(監査・柳相互美術印刷本社)

三田村桂太郎(八丁堀地区長・柳三田村印刷)

東印工組各種委員会開催日

委員会名	月	火	水	木	金	旬日
支部長会			第1週 2~5時			
計画推進 (小宮山, 石曾根)					第1週 3~5時	
頁物 (山田, 小葉)						28日 3~5時
商業 (桜井, 浅野知一)			第3週 3~5時			
事務用 (浅野秀夫, 神林)				第2週 2~5時		
小企業 (長島, 田島)						13日 3~5時
資材 (若林, 坂田)			第4週 3~5時			
労務 (大谷, 森山)				第2週 2~5時		
教育 (齋藤, 若林, 神田)			第3週 3~5時			
公害 (山田, 安西)			第2週 2~5時			
厚生 (児玉, 小倉, 三田村)				第1週 2~4時		
組織 (小山, 篠倉)			第3週 2~4時			
青年協 (小倉, 尾島, 三好, 岸)			第4週 18~20時			

いつも鮮やか  
\*ノーカーボン紙  
**KSK-E-プロイット**

事務処理をスピードアップし、快適な作業環境をつくる、理想的な複写帳票用紙です。



## 神崎製紙

本社 関東営業部 東京都中央区銀座4-9-8 TEL 03(542)7211  
 東京営業部 東京都中央区銀座4-9-8 TEL 03(542)7211  
 関西営業部 大阪府大阪市東区常光寺元町1-11 TEL 06(488)3211

## 写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成(写植スクール)
- 版下マンの養成(フィニッシュワークスクール)

## 株式会社 モリサコ

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

### 第一回 東京青年印刷人協議会開かれる

東京青年印刷人協議会に京橋支部の推せん、その議員に委嘱をされました。六月二十九日第一回の協議会が開催され一七支部から三二名の参加で、当京橋支部から三好、岸の二名が出席した。はじ

#### 新地区長の横顔

湊地区長 田島 弘さん



田島さんは戦時中長く兵役に服されていた、現在の聖文社印刷に参加。その父上のご逝去のあとを継承され今日に至る。聖文社印刷は大正三年創業の歴史の古い社であり、某家電メーカーを主要得意先とする平版印刷で、最近益々ご発展の様子である。奥さんは社長のおよき伴侶として経営にも協力され、ご子息も既に大学を卒業経営陣に加わっている。そのような社長ご一家のみでなく従業員の皆さんも和やかな雰囲気の中にも管理のゆき届いているのは、社長のお人柄が伺える。

田島さんは外見穏やかですが内に強い

めに矢板理事長、倉沢所管副理事長の挨拶があり、八十島常務理事を議長として、新任議員の自己紹介を参加者全員がそれぞれにおこない、続いて去る五月二十四日経団連会館で開催された、東印工組

信念を秘めて一度企画したことは最後までやり遂げられる。地区の運営も誠に行届いたお世話をされる。これからの難しい時代を生きる組合員の交わりを大事に、相互の融和を計ることを基本に活動をされています。

かくの如き表現では田島さんは兎角お固い方のように思われがちですが、お酒も適度に召し上がられるし、特に謡曲は金剛流の全国でも数少ない能舞台にたたれる師範として活躍されており、時折り地区の懇親会でもその片鱗をお聞かせ頂くが鍛え上げた素晴らしいものである。またゴルフを愛され昨年四月に発足した地区ゴルフ愛好の集り水交会の代表世話人でもある。

この度の地区長就任を期して、今後ますます健康に留意されてお仕事に能舞台で、またゴルフにご活躍が期待されます。

(篠倉)

昭和五三年度通常総代会において、承認された基本方針について八十島議長より報告され、①安定成長計画の拡充、②料金適正化のための協調体制の確立、③教育事業の普及推進、④業界組織の拡充強化。

以上の四項目と前年度に制定された運営基本方針の確認がおこなわれた。更に前年度からの申し送り事項六項目の確認を了承された。

続いて幹事一〇名の推せんがおこなわれ、京橋支部からは岸議員が選任された。その他、要望事項が出されて審議がされた。

月島 K生

### 「京橋の印刷」

#### 八月号原稿募集

組合員の皆さんの機関誌として、皆さんに親しまれ、皆さんの手で育てていく為に家族、従業員を含め原稿を募集します。奮ってご応募ください。

内容 論説、技能、技術、体験、創意工夫、営業などの情報交換、

文芸作品、地区だより、組合員の声、写真など。

締切 七月三〇日

宛先 東京都中央区新富一―一六八

(日本印刷会館三階)

東京都印刷工業組合京橋支部

注意 「京橋の印刷」と朱書してください。

## 待望の万能機 LSI制御



●すべての操作をボタンとテンキーで行なえます。その他、「新つめ組み機能」やミスタッチが分かる「エラー警報装置」等、数々の新機能を搭載した。今話題集中の万能機です。

新製品



株式会社 写研

東京都豊島区南大塚 2-26-13 (03) 942-2211

# 組 合 学 校

## 伊 坂 一 夫

### 見 習 時 代

大正十年三月、大倉商業の卒業を待ちかねて、父は商大の入試を受ける事を許可せず、私は家業に従事させられました。

支配人の叔父内谷三之助氏も、同年七月に独立のため退社された。早速叔父に代って、紙の斤量も判らない、私が急に紙出し伝票を書かねばならなくなつた。

事務引継の時、どうやって、紙の計算を、そんなに早く出来るのですか、秘伝を教えてくださいと、泣声を出して頼み込んだ程、途方にくれた。

父は得意廻りと見積で精一杯、進行の方は全部、私にまかせ切りで、お前やれという次第であつた。

### 京 橋 支 部 第 七 区

父は大正十五年東京印刷同業組合の京橋支部が設立されると同時に、出がらであったが第七区長(現在の新川地区)に就任し、昭和十二年五月までつとめた。当時の第七区には羽田元治氏(あとで京橋区議をやられた)という親切な、平版業者が居られた、実際の区の運営は全部や

諸行事は隣の第八区(八丁堀地区)の藤井区長と相談して、共同で組合員の製紙工場、インキ工場見学、懇親旅行等を実施した。

当時八丁堀地区には先川道三氏、中村徳三氏、白橋竜夫氏等相当の強者が揃つて居られた。

昭和五年に七八会の第一回懇親旅行会が、伊豆伊東の新築出来たので、猪戸館で催された時も、父の代理として、参加した事を覚えていいる。毎年七八会は近くを一泊旅行をして親交を暖めておられた。

私は廿八才三月まで、禁酒禁煙だったので、酒の飲み方は、七八会の親切な諸先輩に教わつたのだ。

殊に毎月一回、お隣りの竹内商店(石版レツテル印刷)の店の二階を借りて、月掛無尽会を開いて、菓子を食べ、組合の話や世間話をしながら、深更まで、談笑した事は未だ忘れられない。番頭の野口さんが世話ずきで、事務全般を引受けてくれた。

### 昭 和 三 年 の 大 不 況

大不況で銀行が閉鎖し、モラトリアムがひかれた。私共も鉄道の仕事専門で、

競争は激化し、値段が底なしに下つた。賃金引下げを二回やりました。親父からその交渉は「お前やれ」と云われて、やっと結婚したばかりの若造が、年輩の職長に云い出す事のつらさ、三度とやるもんでありません。その為優秀な幹部職長が二名やめて困りました。それでも毎月赤字でした。

円タクの競争が激しくて、近い処は三十銭でも行くようになった時です。余り印刷業が難かしいので、丁度自動車は買つてもらっているし、免許証はあるから家内と娘をつれて、家出をして、円タクを始めようかと思つた程です。

それでも、気を取り直したのか、水道橋の府立工芸の夜学に通つて、石版印刷の勉強をしました。

### 禿 頭 の 原 因

昭和七年大晦日に学校の同級生日比野君と山下君の三人連れで、浅草へ行き、飲屋でかき酢を食べ年越祝をしました。

正月になって熱が出て、得意先の年始廻りを終え、車を運転して、聖ルカ病院へ行つた処、之はおかしい、すぐ入院と云う事で、裏の平家建の隔離病棟に入られたが、当人は熱のため夢中でした。

五・六日たつてから、幸い軽いが、隔離に入ったのだから、チフスの疑いで一月はかかるよと宣告されました。

二週間目には残した仕事心配になり、病室へ持つて入つたものは、外に出

ここに鮮やかな一枚  
ノーカーボン紙  
レジンCCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)  
TEL. 東京(03)211-7311

日本を代表するインキ

TOYO KING  
ULTRA70

東洋インキ



せませんから、社員と窓越して校了にし  
た事もありました。

三週間目に平熱になったから、洗面時  
にコソリ、ベットから降りて、見よう  
としたら、立てません。人の足は使はな  
いと、弱くなるものだなアとしみじみ感  
じました。

一日も早く退院を願って、やつと二  
月一〇日に退院し、その日に役所へ、車  
を運転して入札に行きました。

あとからの話ですが、退院してからの  
養生が大切なのにそれを無視したから、  
おつむに毛がないのだと云われました。

### 日本紙業伊野工場見学

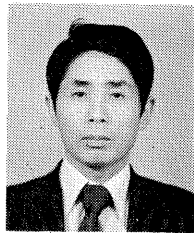
昭和八年四月十日に吉川和紙店さんの  
招待で四国の日本紙業伊野工場(最高級  
薄葉紙キリンの工場)の見学会に参加し  
ました。一行の中に私が大倉商業に在学  
中から父と親交のあった外山勇太郎氏、  
大津氏、日本橋の片貝氏が居られ、一行  
心行くまで「土佐の休日」を楽しみまし  
た。

帰路は高松經由岡山、広島、錦帯橋を  
見物して帰りました。外山さんから「一  
夫さんは鉄道に出入しているから、詳し  
いだらうから時間表係りをやれ」と云わ  
れてプラン作りをしました。岡山の牛肉  
屋で夕食を食べましたが、葱が長く切っ  
てあって珍らしく、洒脱の外山さんは、  
電信柱の葱と名づけました。

### 新地区長の横顔

#### 新富地区長 神林克明さん

昭和は一桁で八年の生れで、昭和三  
二年法政大学経済学部を卒業され、築  
地のI印刷に勤務し、その後同三四年  
四月神林印刷を創立され、事務用品、  
帳票類、パンフレット、カタログ等が  
專業の活版、平版を併用され、ダイレ  
クト製版機、タイプレスを採用された  
理想的なファストシステムの企業体  
で、今度本部事務用印刷委員会委員に  
選任されたことは正に打って付けて、



その方面にお  
いて専門的な  
知識を駆使さ  
れ今後の活躍  
が大いに期待  
されます。

### 二代目のむづかしさ

昭和十二年五月、父が死去して、第七  
区長が空席となって、地元大先輩の羽田  
元治さんから、親父の跡目だから、七区  
長を引受けると、再三に亘ってお話があ  
りました。「待って下さい、親父の跡  
目は伊坂印刷を継承する事が第一で、組  
合の方はもしやるにしても、一年待って  
下さい」とお願いしました。結局は羽田さ  
んが第七区長を兼任されたと思います。

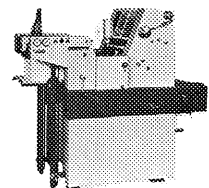
その後昭和四四年一月株式会社組  
織変更。生来の真面目さに得意先の信  
用も厚く、業績は着々と向上、拡大を  
しております。また創業以来終始一貫  
して従業員との和を重んじ一同の信頼  
を深められ、経営管理にも独自の手法  
を用いた近代的な経営者であります。

また、大変に興味で囲碁、将棋は  
相当な腕前で、スポーツもゴルフは地  
区ゴルフコンペには度々優勝されてト  
ロフィの数もさぞ多いことであろう。

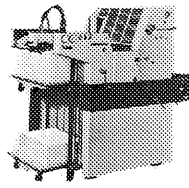
またテニスも学生時代からですが、最  
近はぐっと粹筋で常磐津の手習いと洒  
落こまれていきます。若さと幅広い教養  
を内に秘めた根性は必ず、今後の会社  
の発展と業界の向上のために寄与され  
ると確信します。(浅野)

家業継承の方は人手もへつたし「合理  
化」を計って、「鉄道」の一点、十円以  
下のこまかい仕事を敬遠して、仕事を選  
択しようぢやないかと、方針を変えまし  
たが、年末になって売上げが減って、よ  
い物ばかりねらって受注しようとして  
もそうは問屋がおろさない、こまかい仕  
事も大切なのだと泌々と感じました。  
蟹は甲羅に應じて穴を掘ると云うが、  
創業者はそう出来るが、受継いだ二代目  
は難しいものだ、とつくづく感じました。

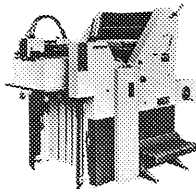
●AD-414 (B4)



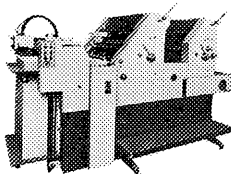
●AD-514 (B3ワイド)



●AD-714 (菊半)



●AD-724 (菊半)(両面・2色)



輸入発売元



〒101 東京都千代田区神田錦町3-15

TEL (03)294-2918~9

ドミナントシリーズ

# 営業マン教育 第三回

## 日本印刷技術協会専任講師 杉田 寿夫

この講演は本誌第三、五号に掲載した「営業マン教育」の続稿であり第三回を数える長編になっています。次回で終了の予定です。昭和会(組合有志)の学習教材より(編集委員会)

原価意識の高揚という工場の中に、「原価意識を高めましょう」などのビラを貼られています。経営の問題は現実には日常の仕事にその掲げた目標がどのように達成されているかをチェックしなければならぬのです。それが即ち管理であり、管理とは計画、実施、統制の三つの行動の集合体です。それでは果して皆さんの同僚や部下が、また上の方々が計画、実施、統制を行動として実現されているか、それが見窮められる企業でないかと本物ではないのです。

営業マンの一匹狼的な行動を営業部門で執らえていけば問題はないのです。そうすれば計画、実施まででなくとも実施のコントロールはできる筈なのです。しかし管理には計画が必要です。一人の営業マンが、どの位の得意先を歩いて、どのような受注促進をするか、従来の得意先の量的な拡大がどの程度できるか目標

に達しなければ新規のお客にどの位の時間と努力をするか、戦略戦術を一人ひとりが考え、更に集合体である営業部門、計算部門はどういう手配になっているか管理者が見なければならぬのです。勿論管理者に任せろのみでなく、単独で行動する営業マン一人ひとりが計画と実施を、更にその結果をどうコントロールするか、もし悪い個所があれば計画が甘いのか厳し過ぎるのか、或いは実施に当り努力や工夫が足りないのかを見究めることです。ところが朝から晩まで必死になって仕事をやっただが間に合わないから残業をやらねばならないのは昼間の仕事かひよっとすると甘いのではないかと考えられます。得意先の都合で夕方からの場合は止むを得ないので、それに代る昼間の時間を埋めることは出来ないのか、など一つひとつ考え工夫をすることです。

自分の行動を徹底して見直し、そして努力を成し遂げたか、その努力は無駄なものか、一人の小さなロスもそれが積み積れば大きな経営不効率になるのです。

いまお客様から注文を頂いたとする、

その時の打ち合せがまずくてもう一度製品仕様の問合せの間をかけなければならぬこと、また代金の回収に何ったが事前の打ち合せが悪くて先方様が不在であったとか、種々の面で事前に計画を立てて手当をして行かないと何んとはなく時間の無駄が出てくるのです。昔の人が「時は金なり」と言われたように、予定した時間通りに動けないことは自分自身にスキがあるからで、部門全体にスキがあれば会社そのものにスキがあるように成ります。また管理者が部下の扱いに何んらかのスキがあると無駄が出てくるのです。即ち原価不管理になるのです。

一般的に物の市場価格が上れば給料も特別の問題がなければ上る筈だと考えられています。しかし労務管理部門でもう既に給料は頭打ちで、予約されている退職金も出なくなる時代が来るのではないかと言われています。企業は労務倒産と言うより数年前には人件費倒産問題が起ると予想されています。人件費のアップでどうにもならなくなってきた経営が段々と増えてくると心配されています。生産性の低い企業ではいくら賃金を上げると言われても上げる訳にはいかないのです、私が企業診断をおこなった或る業種で労働分配率が一〇〇何%と言う企業があり、早速その企業に注意をして作業管理なり、或いは他の管理を厳重にやらないと日ならずして、この会社は無くなってしまいますと勧告をしたことがあ

### ◎取扱い品目

洋紙・板紙・和紙・産業用紙・紙製品

## 株式会社 鵬紙業

代表取締役 戸塚 浩二

- 本社 東京都中央区八重洲2-6-13  
TEL (274) 2351 (代)
- 新宿店 東京都渋谷区初台2-1-1  
TEL (379) 0271 (代)
- 練馬配送センター 東京都練馬区豊玉南2-18  
TEL (994) 2731

### トウのビジネス封筒

名刺・カード・はがき

#### 営業品目

- 事務用和洋封筒
- 名刺用紙
- 私製はがき
- 招待状カード
- マド付封筒
- ROMAD封筒
- DM封筒

## 株式会社 トウ エニパック

- 本社 東京都江東区永代1-2-1 電話 (642) 1141 (代表)
- 配送センター 東京都江東区永代1-1-7 電話 (643) 3237 (代表)
- 支店 城南(727)4141 本郷(643)7461 城西(994)5151 浅草(643)7851
- 栃木工場 栃木県下都賀郡野木町友友 電話 02895 (5)2100 (代表)

ります。現在の印刷界の労働分配率、即ち加工高ですが、売上げから材料費、外注費を引き、その残りが加工高ですが、その加工高の一四〇％アップとか生産性のテンアップとPRしていますが、それら上げなければならぬのは賃金が上って来るので、その伸び以上に加工高を上げなければ企業を維持することはできないのです。いくら何んでも儲けが薄くては慈善団体ではないので給料を上げてほしいければ、もっと稼いでくれと経営者でなくとも言わざるを得ないことなのです。経営診断をおこなう場合は、その会社の生産性ほどの位かを出します、そうすると例として大体三〇万円位で水準に達しているとして、もし二〇万円位では二〇万円近辺給料は払えなくなりまよと注意をし、稼ぐことは外に出す金を出来る限り少く、社内での稼ぎ高が多いことが稼いだと言って手柄顔ができるのですと申しています。売上げが多くと社内の稼ぎが少くは外の人が稼いでいるので、社内の生産部門がだらだらと仕事をしています、営業が取ってきた仕事をこなして呉れなければ、外注に頼らなければならず、そして外注の比率が高くなってしまう社内での稼ぎ高は少くなる、にも拘らず生産部門、営業部門の人が高い労働分配率の給料を頂いているならば企業の生産性に顔向けならないことになり、それが一つの指標として表われます。兎に角昔

の人は人件費は四割以下で、もっと厳しい人は三割以下にしなければと定めていました。しかし現在の印刷業界では五五〇から、更に五六、五七〇のように上りつつあるのは、生産性が上がらないにも拘わらず賃金が上がっているのが現状です。これからまた春闘で賃金は七〇近いものが上がると予想されるが、中小企業も大企業と同じように右え並えするのだろうか、大企業は装置産業、即ち機械が

新地区長の横顔

月島地区長 安西定治さん



千葉県は鴨川の磯釣で名高い仁衛門島を目の前にする

安西一誠堂印刷は今年二月創立二〇周年を迎えられた、安西さんにお目にかかったのが自立営業をされたその頃のものであった、それ以来のお付き合いである。今も変わぬ実直そのもので誰にも頭が低く、好感のもてる人」と周囲の人から親しまれている。地区役員には前々期岡田地区長と共に幹事を二年勤められ、また地区旅行会幹事もたびたび、その持ち前の誠実さと安定した企業経営に、地区全員の信頼を集めて地区長に選任された。

稼いでいるのが多く、比較的生産性が高いので給料を余計に出してもこたえないのであります。ところが労働集約性の強い中小企業、特に印刷業では、それと同じように何割出せと簡単に考えていたら大変なことになるのです。本当は皆さんの給料が出来得る限り上り社内が円満にいくことを願うのですが、しかし実際にそれだけの稼ぎが上らなければ賃金を上げる訳にはいけません。

大海の出身で、大正三年生れで身長一米五七、体重四六斤と細身な人である。昭和四年芝・汐留のK印刷に共同経営の約束で一四年間勤め上げたが、あのいまわしい戦争で企業整備で廃業それまでの努力も水泡の如く、その昭和一七年にご自身で糟糠の妻と申される奥さんと結婚され、お子様は三女をもうけられた。昭和一八年から終戦まで佃の石川島造船所に徴用され、戦後港区琴平のB印刷に一〇年、同三年自立創業され事務用品、商業印刷を平凸両版式の堅実な企業である。長女がお勤め先で結ばれた方が、現在は会社の専務で営業を一手に引き受けて活躍されている。地区長の職務を通じ業界への貢献と飛躍が期待されている。趣味は健康にもと近頃川釣りに親しみ日本酒を少々、お孫さんお二人。(石井)



能登プロセス株式会社

東京都中央区日本橋蠣殻町1-25-7 ☎(667)5021(代) 103

隨 筆

# 「八親会」(二)

久保田幸一郎

日本舞踊を習うと小唄、端唄、長唄等も唄いたくなる。踊りと唄をけいこすると、その成果を発表したくなるのが人情だ。

夕方になると向島へ誰からともなく遠征して芸達者な芸者をよんで十時頃までおさらいをするのである、時間一杯まで次から次へとリクエストするので地方、唄い手が皆さんは人使いが荒いとよくこぼされていたものだった。

一、二年間こんなことが続いたが、郷に入ったが郷に従わずで、不思議にも知っている限り一人の同志も泊ったことがない、ということだ。同じように、熱海、伊東等へもたまにドライブ方々行ったのもつい昨日のような気がする。当時のメンバーのM、Y、MAの各氏も今は亡く、隔世の感がしないこともないのである。

そして昭和三十三、四年の頃に我々の

前にゴルフブームが現われて来た。踊りも唄も一人やめ、二人やめで舞踊からゴルフへと移っていったのである。これまた誰いうとなくゴルフ倶楽部をつくろうではないかということ、立ちどころにゴルフ倶楽部が出来て、飯能G.C、狭山、相武、大宮、袖ヶ浦等、或は伊東一べき湖、伊東国際、川間、梅里、柏等当時はどこでも行きさえすればプレーができた時代で若いきれいなキャディーが大概はワゴンバッグで肩に担いでプレーヤーについて回ったもので、今では一寸考えられない光景であろう。

そんなわけでゴルフ倶楽部は永く続いて月例コンペを開催しており、何回位やっているか見

当も付かないが、一八年としてもザッと二百回を数えることができるのである。

腕の方も当初よりは遙かに上達しているが、皆一様に



昭和27年1月20日支部総会の帰り熱梅の梅林で先川(右)と白橋(左)の両顧問

は四組で習志野C.Cのキングコースで月例コンペを開催し優勝は一緒にプレーした一員のB堂のI氏が最後まで崩れずにHD三四で七アンダーパーで飾ったのであり、握ったチョコも相当に大量のように思う。次回こそ私も大いに頑張ることにしよう。ゴルフ倶楽部も今は亡きK社のK氏やM社のM氏、M印刷のY氏等がメンバーの一員であって陰になり日向になってよく面倒をみて下さったので、益々盛んになっていくわけで、この点功勞者と言えるのである。何日か追悼コンペを催さなければならぬと皆が思っているが、今頃はサイの河原C.Cでお互いに腕を競い合っているかも知れない。

昭和三十二年

頃だった、当時神武景氣も終りに近かったと思うが、突如として戦後第一回目の税金旋風が巻きおこったのである。まだ

とは言い難く、肉体的の老化からくるものか下降線をとどめている者も何人かはいるのであるが、優勝のカップやトロフィー、楯等は皆何個か所有しており、それぞれのゴルフ歴を物語っているのである。四月に

確りしていなかったし、調査官は事前調査を詳細に行って乗り込んでくるのだから大変だった。あそこでもここで調査を受けた会社は、当時としては多額な更生決定をうけ税を絞り取られたことがあ

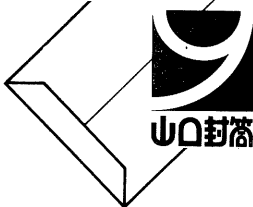
## オフセットはハイデル

A3判単色、多色、多色両面機から、菊全判多色、多色両面機まで豊富な機種。

グラフィックアーツの総合商社  
**印刷機械貿易株式会社**

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL 0720(32)0441 千572  
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL (763) 4141 千140

封筒をつくって50年  
信頼と実績の



- JIS規格全種
- 事務用和洋封筒
- 株式会社専用窓付封筒
- ダイレクトメール用窓付封筒
- 高品質売用・重信用紙袋
- エヤメール封筒
- レコード・ジャケット
- ペーパー・バック

封筒についてのご相談は  
お気軽にどうぞ

本社 千104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(55)3151(代)  
工場 千132 東京都江戸川区西境4-21 電話(652)7721(代)





昭和27年頃の八親会旅行

った。最も今考えてみれば極く当り前のことだが。そんな時に私が役所へ行って滞納税のことで徴収官と所要の用件が終って帰えろうとしていると、同官が私に向って、あなたが出来るなら早急に地域同業者をまとめて納税貯蓄組合を作ってはどうか。若し組合が出来たとするならば、現在滞納している延滞税若しくは利子税を減免することが出来るから考えてほしい、と言われたので、時を移さず数名の幹部の意見を聞いたところ、君が出来るのならという意見が多かったので

早速月例会の時にこの旨を話すと案外にこの恩恵に浴せる状態の組合員がいて皆大賛成だった。そこで所期のメリットを受けるべく当局のご指導によって納税貯蓄組合が発足したのである。それからもう二〇年以上になり、二年前に第二代目の組合長としてM印刷のK・M氏が就任、この四月からは第三代目組合長にE印刷のE・E氏が新任したのである。この間昭和三八年一月には納税貯蓄組合に、また同四六年一月には当時組合長個人にそれぞれ署長から感謝状を受ける

栄誉に輝やいたのである。今以ってこの組合も健在であり益々利用発展していくことと思うのである。さて、八親会の歴史は古く光っている。もうやがて三〇年になろうとしているのである、親睦会がこんなにも長く続いている会はそうザラにはないのである。聞くところによれば同じような会を作ったことを幾くつかはあったが、何れも数年足らずで解散してしまっただのである。私はS印刷会長さんの命によってお世話は申し上げたものの生みの親であるというよりは生みっぱなしの親

### ファイルご寄贈元の 二社へお礼の言葉

先般「支部通達文書綴」と「京橋の印刷」のファイルを支部組合員の皆様へ、配付しましたところ、続々と謝辞を頂き恐縮しております。このことは前執行部よりの申し送り事項の一つで、これ程迄に喜んで頂けることは予想もしなかった事で、執行部一同として望外の幸せであります。この通達綴の作成にあたりましては、浅草のデスクダイアリー発売元であるコレクト機(株)の会長さんと社長さんのご好意により作製され、ご寄贈を頂いたもので、大変

であって、こんなことを申しては甚だ申し訳けないが、第二代目以降の現在に至るまでの歴代の会長さんが、皆真剣に会長職に取組んで、全く報酬はおろか、役得になるようなことも何一つなく、只会のため、会員のために夢中になってご奉仕された賜であることは言をまたないものである。同時に当初から或は途中から入会された現在の会員の全員が会員たる誇りを持っており、会の趣旨に協調しているからであることは疑う余地はないからである。更に現代から次代に移り、親から子に移り、会員の顔ぶれも時代の推移によって変わっていくことも、会は永久に存続することでありましょう。  
伝統ある八親会よ永久に……。

遅くなりましたが、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。  
又、「京橋の印刷」も月刊としてスタートしたことであり、それをファイルに整理して保管して頂いたらどうかとの意見がもたらがあり、たまたまお目にかかった小森印刷機械(株)の社長さんに同趣旨のお話を申しあげた処、京橋支部の印刷業者の方々には大変お世話になっている、ぜひ共、当社で寄贈させて頂きたいとお言葉を頂きました。このような経過により、コレクト機(株)小森印刷機械(株)の両社へ支部組合員一同、心からご厚情を感謝申し上げます。

四六四截オフセット  
**オリバー 8**

軽便・高速・重装備  
580×440. 9000枚/時  
姉妹機：オリバー6 菊四截

**桜井機械販売株式会社**

〒135 東京都江東区福住2-2-9  
電話 (03) 643-1131

去る四月七日京橋支部通常総会の席上、過去二年間に亘る支部長を支部組合員皆様のご期待にお応え出来ぬまま任期満了になり退任させていただきました。

しかし任期中を共々ご協力いただき、ご苦勞をおかけしました当時執行部の皆様方のご努力の賜により、大過なきを得ることが出来ましたことを回想すると、改めて幾重にも厚く感謝申し上げます。



### 就任のごあいさつ

東印工組常務理事  
厚生委員長  
久保田 幸一郎

東印工組の役員改選に当り、本支部皆様のご推薦により図らずも常務理事をおうけする余儀なきに至りましたことは勿論身に過ぎたる光榮でございますが、私如きは到底その任ではないのでございませう。そこで止むなく支部顧問相談役殿に

支部長を退任し肩の重荷をおろした気持ちで、これからは自ら社業に励み、かねてからの小さな希望に向って進んでいこう等と秘かに考えておりましたところ、

お諮り申し上げましたところ、かえって種々温かいご激励のお言葉を頂戴いたす結果となりましたので先般就任したわけでございます。奇しくも石沢副理事長殿の後任として

鞭撻をいただけますよう特に御願ひ申し上げ、皆様方の一層の御健勝と御繁栄を祈念申し上げます。就任のご挨拶にかえる次第でございます。

### 融和と協調に徹して

製本工組京橋支部長 牧野 佐武朗

私この度製本工組京橋支部長の席を汚す事に相成りましたが固より浅学非才その任ではございませんが、製本業界の諸先輩、役員並に組合員各位のご指導、ご支援を頼りに何とか誠心誠意「融和と協調」に徹してその責務を果たしたいと考えて居ります。

先ず以て平素は貴支部組合員の方々か

ら私共製本業者はお仕事を頂戴し御得意様として陰に陽にご支援賜り有難うございます。

扱て製本業界が始めた体験するスタグフレーションの進行は、ご想像以上に根深く製本総量の激減、競争等により極度の冷え込をみせ昨年無差別に抽出した二二五社の調査結果は、欠損の決算をして

いる企業が七一社三一・五%に当り正に切羽詰った剣が峯に立たされて居ります。京橋の製本は一七六社で書籍二十社雑誌(定価のない説明書、機関誌等)二六社、事務用品(伝票、中綴カタログ、パンフレット)一〇三社その他二七社で事務用品が約五八%を占めて居ります。然し乍ら生産能力となりますとご承知の如く京橋という密集した狭隘な工場スペースに制限され極めて小規模事業所が多く五年前の石油バニック後の仕事不足も手伝い新規雇入れの退嬰と製本の単調作業が不人気で年々従業員は減少し今では平均

三、四人それに加え経営者の自助努力の立ち遅れもあって印刷業界の合理化、高速化に対処出来ず印刷物の後処理で大変ご迷惑をかけて居ります誠に残念でございます。然乍ら最近になって狭い乍らも漸く設備の改善もすすみ、今迄の立ち遅れを取り戻したいと頑張つて居りますので、又は、何卒地区業者にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。運搬についても、品質管理の打合せ監督、指示、伝達、出来上りの確認等信頼し合う加工現場の接近は有形無形のメリットがおりかと考えられます。又料金面に於いては「京橋は高い」の観念が強い様であります。企業差は多少あっても平均すると高い事はございません。部数のまとまったものについては結構ご要望に応じられる事と存じます。但し小部数ものの手作業本位のものについては今時の人件費から推測して多少の処は認めてやって頂きとう存じます。又高い時はお互いの繁栄の為ご相談下されば必ず妥協点が得られると存じます。どうか貴社の製本作業所として近間を利用し指定工場としてご活用の間をお待ちして居ります。又品質に於いては常に厳しくご指摘謙虚に受け止めます。尚納期の面に於いても末端産業の宿命と考え、ご要望に応じます。貴組合員の皆様は私共企業繁栄の源泉であります故に私共は印刷業界にとって「必要とされる」、「選ばれる」企業となるよう自己開発につとめ、その為には製本業者相互に切磋

### 中央区工業団体連合会総会

昨年度で一五周年を迎えた中央区工業団体連合会の五三年定期総会が、去る六月二〇日午後二時より、区立中央会館で開催された。

永らく会長をつとめられた、高橋興作会長が、健康上の理由で退任され、新会長には、やはり印刷業界の白橋龍夫氏が就任され今後の抱負を述べられた。

五十二度の事業報告、決算報告に続いて新役員の選任と、五三年度の事業計画、収支予算が審議可決され (1)組織拡充 (2)経営改善対策 (3)各種講座研修の実施 (4)公害防止対策 (5)表彰事業の実施 (6)雇用対策 (7)工団連事務局の独立準備 (8)地域社会への貢献などの本年度事業計画が含まれている。

続いて来賓の横関中央区長の挨拶があり、「工団連は、中央区の産業を支える大きな柱であり、商団連と共に両輪として発展することが、中央区の繁栄につながるものであり、区の行政サイドでも助力を惜しまない。」と述べられ、中央区議会の花村議長よりも支援の挨拶があつて、閉会、引き続いて懇親会が行われた。

工団連の加盟団体は、東印工組京橋支部(三〇〇社)をはじめ、東印工組日本橋支部(八五社)、製本工組京橋支部(一七五社)その他八団体で計七二八社が加盟している。数の上でも印刷業が、中央区の地場産業であることがうかがわれ、当支部より常任理事十名、理事十名が選出されている。

公害問題をはじめとして地域行政とのかわり合いが深くなる現況から、工団連が一つの接点としての大きな役割りを果たし、企業の繁栄につながる方向を指向されていく様に望まれる。(N・N)

### 工団連宿泊研修終る

工団連宿泊研修は毎年好評で、今年申し込みが殺到早々と満員、事務局は調整に大奮であった。

六月二五日一泊二日の日程で中央区役所前より各団体は観光バス三台に分乗、午前八時四五分白橋工団連新会長の挨拶を合図に発車。東北自動車道を岩槻ICへ宇都宮IC。日光街道を東照宮造営当時から杉並木をくぐり、今市、鬼怒川を経て新緑の日塩有料道を宿舎、塩原ガールデンに午後二時四〇分到着。

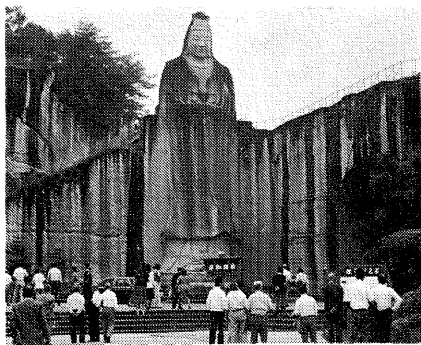
三時より四時までの研修は、足利銀行木田調査部長の講演「栃木県の産業」短い時間で統計数字が多いが、しかし流石

に銀行マン、ユーモアを交えた話術に参加者を納得させていた。

午後六時より恒例の懇親会、百五〇名が大広間に勢揃い、参加団体それぞれの芸達者な余興が披露された。

翌朝八時三〇分出発、東京重機大田原工場見学。主として工業用ミシンの製造、大変行届いた工場管理と敷地内の緑が多く手入れの良さが印象に残った。

工場見学を終えて西那須ICへ宇都宮ICから建築材で有名な大谷石の産地へ、大谷磨崖仏、大谷観音の観光も兼ねて、有意義なそして楽しい宿泊研修の帰路についた。毎度のことですが工団連事務局担当の中央区職員の方々がご苦労様でした。(H・I)



栃木県大谷の平和観音

琢磨し御得意様の信頼を「如何に獲ち得るか」「如何に活用して貰えるか」その為には無茶な過当競争は忌避すべきであり絶対排除すべきであります製本業の発展の為に得意先確保の為に節度ある競争は当然であり好ましい事と存じます。その様な意味に於いて多様化してゆく印刷業界について行く為熱情ある次代を背負う若い人又は後継者(二、三世を含む)が製本業界に新風を吹込み魅力づくりに励まねばならないと存じます。その足がかりを糸口を開き度いと考えて居ります。この事は業界の内部だけでは「井蛙は以て海を語るべからず」で役に立ちませんので機会を得て貴組合のご指導ご理解を得て貴組合の若い方々と話合う場も必要と存じますその節は宜敷くお願い申し上げます。

誠に僥越でございますが交転極みない印刷様式その加工形態は複雑で厳しくなる一方であり、印刷、製本が一体となつてより「やり易く」より「低コスト」で出来る作業の順序、方法等その立場でお手伝いさせて頂きます。又特殊製本で発注先をお探しの向きは出入りの製本業者に一声かけて下さい専門の業者をご紹介し少しでもお役に立ちたいと考えて居ります。印刷業界の活気と繁栄なくして私共に発展なし、この困難な時期を切り抜ける為出来る限りの努力はさせて頂きます。貴業界が益々の発展と組合員の皆様のご繁栄を心からお祈り申し上げます。



第2回 活字の値段の移り変り

	明治5・10 平野活字	明治6・4 勸工寮	明治6・6 勸工寮	明治8・3 印書局	昭和15・4 東京活字組合	昭和21・9 民友活字	昭和49・6 日本活字	昭和53・7 日本活字
初号	4銭	—	—	—	8銭5厘	1円50銭	110円	150円
1号	1銭9厘	—	—	—	4銭	60銭	60円	80円
2号	1銭2厘	1銭1厘	9厘	7厘3毛	2銭3厘	30銭	34円	46円
3号	8厘5毛	8厘5毛	8厘	5厘5毛	1銭2厘	—	20円	28円
4号	8厘	8厘	—	3厘2毛	9厘	12銭	12円	18円
5号	7厘5毛	7厘	3厘	2厘2毛	4厘5毛	7銭	7円	9円
9号	—	—	—	—	3厘4毛	—	—	7円
6号	—	—	—	—	3厘4毛	5銭	4円	6円
7号	5厘	4厘5毛	—	1厘4毛	7厘	8銭	4円	6円

明治54年～昭和15年までの値段は「京橋の印刷史」による (文は厘に換算)

60銭、四六45銭、四六860銭である。現在は機械の精度、速度も向上し、機械の値段、人件費も高くなったに拘らず、この印刷通し料金は一般の生活必需品に比べてその上り方の何とも低いことである。印刷でも製版料金や製本料金や材料費は可成高くなっているのに、かんじんの文化の糧である印刷通し料金は業者が無駄な競争をやめ、新世代を自覚することによって、後継者に希望を持たせたいものである。

京橋支部京橋地区  
東印工組理事 森 元雄

印刷の心

印刷界はあらゆる分野に亘り機械化の波が押し寄せ、ますます近代的な観知が入入れられて目まぐるしく進展して行きます。そうした現在に兎角見失われ忘却され勝な事を懸念しています。何んだろ？ 『印刷の心』である。そもそも印刷の歴史を振り返る時そこには日本文字の性質が決定的に日本印刷の発達を遅らせて来た事実がある、にもかかわらず先覚者本木翁以来多くの先人が苦闘の時代からより良いものを生み出すべく脈々として伝えはぐくまれた過程に一貫した印刷の心がある。今一度考えて見よう。印刷界は、吾々印刷人は一体何を目標にし

て進んでいるのだろうか、印刷を単なる原稿の複製だと決めていている人が多くないか、そんな人に接すると胸のつまる暗鬱たる思いがする。云うなればそれは原稿の下僕であり注文者の意のままになる使い走り等に等しい、寸時をも忽せにせず筆の眼の如き神経を以って良心的な印刷物を生み出す為の研鑽と努力はどうなっているのか、原稿とは内容であり、印刷は形式である。印刷する事によって原稿に光と彩を与え親切心を包蔵するものでない限り目的は永遠に見失われて終う。吾々は印刷を形式芸術の一つにまで昂揚する意欲を持つべきである。仕事は敏速であるべきは言を待たないが営業は相手の言葉のまま機械的に遂行すれば表面的な責任は果せるであろうが印刷人の心として道義的な責任と不安は胸の奥に残る事だろう。ある時は得意先に希望する||こう云う風な印刷効果があります。もっと適当な材料がありますと、レイアウト・原稿の意図・インキの色彩・紙の質・色合等々内容との配合に対する俊敏な判断注意力によって相手方に知らせ得るのも印刷の心である。好結果の印刷物を心懸ける印刷人として当然の事であり時に論争は得意先の希望の明確化の作用となりましよう。忘れまい心ある印刷に願いいこめて自信と誇りと気概を以って邁進したいものである。

秀英堂紙工印刷 中條 幸男

ワイン反対論

お刺身でワインを……頂けませんなあ、近來はワインブームで、西独乙のナントカワイン、フランスの何々ワインと高いお金を払ってお飲みになる。本当に美味しいのかしらん。肉には赤なんて言うけど、赤いワインの色からして、どうも頂けない。それにあの独特の味がみ。

これは、あるお酒の評論家女史の受け売りなのですが、欧州人は肉が主食であり、牛でも羊でも食べられるところは、すべて食べてしまう。バター、チーズの製法は古くから開発され、肉の貯蔵法に、ハム、ソーセージや燻製の類。香辛料なんかは、半分腐った肉をごまかして食べるためにあるなんて言ったらお叱りをうけようが、ともかくも肉また肉である。パリの市場などには豚の頭なんか売られていて、家庭の主婦はこれを買って来て、大きな鍋に丸ごと入れて、ゴトゴトと何日も煮て、そのスープを美味とするのである。これらのゴツェリとした肉食を口にすれば動物質に含まれるセラチンの関係から、口の中がべったり、我々日本人にはとても親しめるものではない。このセラチンをうまく中和させる妙薬がワインだそうである。やっぱりお刺身にはキュッと熱燗の日本酒が合いそうである。

小宮山印刷 小岩陸奥雄

企業格差が著しいなかで

# 「東京都印刷営業士会」誕生!!

東京都印刷営業士会会長 寺田 知史

とどまるところを知らないドル安、円高の経済情勢のもと、日本の金融、産業界において構造不況下での企業格差が拡大する複雑な様相を呈している中で、我々印刷業界もその煽りをまともに受けている産業の一つである事は肌で感じ充分ご承知の事と存じます。

過去においては、不況に強い産業などと言われていた時代もありましたが、その様な安易な考えでは今日の極めて厳しい不況を到底のりきる事は困難なことのよう思われます。

では一体どのように対処して行けば良いのか、と言われても即答に値いする施策を持ち合せている訳ではありませんが、考えられる事の一つとして優秀な人材の養成と云うことも最も必要欠くことのできない施策の一つだと思われまます。

全印工連、東印工組の諸先輩方も、業界の将来をふまえ印刷人育成教育の一環として、昭和四十六年二月から営業士および営業管理士の資格制度を実施され、営業マン資質向上を図って参りました。その結果、すでに全国で二、七三四名(東京四八〇数名)の有資格者を送り出すという立派な成果を挙げておりま

す。しかし折角資格を取得されても、それを有効適切に活用される機会もなく、ややもすると自己満足的な資格になりかねない現状を考慮し、これを打開するために昭和五二年九月一〇日の「営業士の集い」を契機に営業士会の設立準備にかかりました。久永副理事長をはじめ、小泉教育委員長、現役員の熱心なご指導により、本年四月二二日に東京都印刷営業士会の名称で発足の運びとなりました。

本会は、会員が営業士および営業管理士としての誇りを堅持し、会員相互の親睦をはかるとともに自己の研鑽に努め、業界の社会的地位向上をはかると共に、印刷業界の発展に寄与することを目的としているものであります。

ところがこの大事な会の会長という大役を浅学非才の私が行きがかり上仰せつかりましたが、もとよりその任ではございませんので戸惑いと責任の重さを痛感いたしております。

これからは、業界の皆様のご指導ご叱正と、会員の皆様の絶大なるご支援をいただき、走り使いの気持で、誠実に重責を果させてゆけばと願っております。

私達営業士会では一線で活躍されてお

られる会員の皆様が肌で感じている営業活動の中で、解決せねばならない多くの問題を持ち寄って検討し、一つでも解決点を見出しつつ新しい時代への担い手として業界の発展向上に少しでもお役に立つよう全力を傾注して努力することだと思えます。その具体的方法の一端として早速七月二八日(金)に港区芝公園の中退金ホールに於て、第一回講習会を開催するよう準備中でございます。テーマとして「現経済下における今後の印刷業界の展望」と題して、いかにして我々営業マンはこれに対応していかなばならないかの講演と、「ランチェスター作戦による営業マン教育」と題して、営業活動における新規開拓の戦略、戦術を科学的に分析したスライドを二時間位の予定で映写する予定でございます。

我々の業界では今後解決していかなばならない多難な問題が山積されております。その一つとして不当な過当競争問題など、常に話題のトップにあげられておりますが、いかにしたらよいのか、の現実即した具体的な検討を真剣にされる事が先決ではないでしょうか。

諸先輩のご指導のもとに、我々営業士会としてどうしても解決してゆかねばならない大切な問題に情熱をもって取り組み、切磋琢磨して努力を重ね他県の営業士会の手本となる様な立派な会に育つようご支援ご協力を御願いたします。

高千穂印刷機営業部次長

名刺・はがき・カード・封筒 etc

……紙製品の総合メーカー



# 株式会社 山 櫻

東京都中央区築地 3-2-9

電話 542-8511 (大代)

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有  
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪/昭島

# 組合員の声

皆さんの生の声を聞かせて下さい。常に考えていること、組合に対する希望、不満など何んでも投稿してください。

皆さんの声で、手で、組合をよりよい皆さんの組合にしてください、明るい組合づくりにご協力ください。

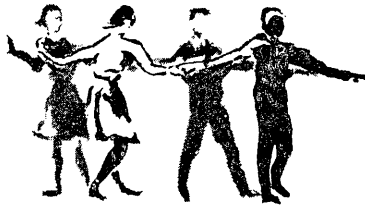
## 青年印刷人のグループを結成しよう

去る六月二九日京橋支部からのご指名により東印工組の東京青年印刷人協議会(略称、東青協)に参加してまいりました。東青協とは、東京における青年印刷人の力を結集し、各支部代表(支部青年印刷人グループの活動家)推せんし議員と称している。その議員相互の研鑽および親睦をはかり、ひいては各青年グループ相互の緊密な連繫と交流を通じて、印刷業および印刷関連業の向上、発展に寄与することを目的としています。特に東印工組の組織機関でありますので青年印刷人として、東印工組の施策と運営に関する意見提案をおこないます。

現在東印工組傘下二支部のうち一六支部に青年印刷人の組織ができていて、

親睦を中心にした交流、情報交換、見学会、研究会などを、青年に限らず印刷にたずさわっている人々を対象に活動しています。なかには支部事業の推進に積極的な役割を担うグループもあります。各支部青年印刷人グループの前向きな姿勢にはただ驚き、東京を代表する大支部京橋の遅れと、青年同志の結束の無さを痛感しています。

京橋支部九地区のうち青年の集りがあるのは、三、四カ所だけと聞き寂しい思いを感じるのには私一人だけではないと思います。京橋地域の青年印刷人が結束をして、青年の考えや、悩みをぶつけ合っ



て、この不況下の経済情勢に対処しながら、未来へつながる印刷を人類の財産として築きあげていくことが必要だと考えます。

まず行動です、京橋全体の青年印刷人の集りをもとうではないか、そして京橋

の印刷の伝統を守り、更に発展に向って前進しようではないか。支部執行部の強力なご援助の期待と、志ある青年の連絡を待ちます。

月島地区・岸印刷

TEL 五三三〇三〇〇 岸 健作

## 地区だより

▼銀座地区 現在当地区に於ける組合員二十五社、まどまりの良いと云える人数である。毎月一回の例会がたいへん楽しみだ、と云って居られる方もかなり多い。例会場は銀座三丁目の「みよし」がもう十年以上も使われていて、季節の走りの物を出してくれる、永い付き合いなのでかなり安い費用で賄ってくれる、しかし近頃はやはり予算の関係もあって、銀座一丁目町会事務所と交互に使われているが毎回アルコールはつきものになっているので、難かしい話が終れば和気合々に良い雰囲気が出るから出席率も80%を下らない、時には組合運営や経営問題等について果てしない議論が尽きぬ時もある。

六月例会は二十一日(水曜日)定刻五時三十分より「みよし」で始められた。先ず森山区長より支部の伝達事項について説明があり、引続き文海堂松岡社長の発声で乾杯となっ

た、談たまたま組合運営に就て話が及ぶと、過日行なわれた総代会に就て当日出席した瀬戸総代から説明等が行なわれた、その後九月に行なわれる三区親睦会の「萩・秋吉台」の山陽旅行につき、こもごもの意見が出たりした。銀座地区では組合員の他に関連業者も交じえ「三区親睦会」と名付け、古く戦前から年一回の旅を楽しんでいる、現在の会員は十三社で時には奥様方の参加もあり、楽しい会である、昨年は奥三河「湯谷温泉」と仏法僧の寺で有名な鳳来寺をたずねた。

写真は一昨年(の)仙台旅行の折に青葉城趾でのスナップである。



# 支部の動き

6月7日 支部長会 印刷会館

6月9～10日 東京都中小企業共済協組

主催の生命共済、火災共済代理所会議が熱海つるやホテルにて開催、五

二年度事業報告がなされた。各支部より担当者が参加。京橋支部では若

本書記が出席。

6月14日 部長会、地区長会、支部会議

室。

工団連役員会、於・躍金楼

6月20日 中央厚生事業協組理事会

6月22日 編集会議 支部会議室

6月25～26日 工団連宿泊研修会。

6月29日 第一ブロック三支部長、中央

労働基準監督署と労働基準法、労働安全、衛生法の説明について打合せ

## 慶 事

2月11日 鶴協進社印刷所社長板嶋良三

殿長女園江さん御結婚。

4月2日 幡蓬菜屋印刷所社長森山道太

郎殿長女道代さん御結婚。

6月12日 光信印刷(株)社長武村鍵司殿長

女和子さん御結婚。

## 編 集 後 記

▼支部の特色を出せとの要望を再々にわたって頂く。支部報の性格上当然のことだと考えている。それには地区の声、特

に支部・本部に対する苦言提言などの入稿が多いと編集子として大変助かる。

▼五号から地区長の横顔を掲載し、皆さんに好評で喜んでている。お名前はわかっているが、さてその人柄となると、ごく限られた範囲の人だけが知っていることが多い。他地区の方々を含めて多くの方々に親交の度を深める役割を果せば幸いである。

▼地区長さんに限らず全地区の人々の横顔紹介を含めた地域紹介を果したいと思いいこの号より「地域特集Ⅱ地区のページ」を企画し、京橋地区より順次九地区の特集で誌面充実し地区の臭いを発散させたいと考えている各地区の皆さんのご協力をお願いしたい。

▼先輩の思い出や苦労話を伺うことも、この誌面の重要な柱であると思う。その手始めとして顧問の方々に執筆をお願いすることにした。先ず一番の先輩である高橋顧問殿にお願いしたが、昨年度より病氣療養中であられ、そのご回復を待つてご執筆を頂くことにし、本号では伊坂顧問殿にお願いして示唆に富む玉稿を頂戴した、若き世代には特に熟読をお勧めしたい。

▼新年度に入ったせいか、各支部から続々支部報のご寄贈が続いている。京橋もうかうかしておられない立派な内容にふれ、新たな刺激を頂いている。ただどの支部報も共通していることは月刊ではない程度が多いようで、月刊誌の形態

は京橋が唯一のように思われる。それだけに、京橋支部報の月刊制度は何としても維持していきたいものである。どんな小さな記事でも、写真・カット類・和歌・俳句・川柳など詩歌の類でも、どしどしご投稿をお願いしたい。(H・K)

▼月刊「京橋の印刷」は組合員の総意で生れたもので誕生僅かに半歳で、第七号が発刊の運びとなりました。これから幼年期、少年期へ健全に育ち将来に向って立派に成長させるには、単に編集員に任せきりでなく組合員各位がご投稿をしていただき、皆で立派なものに育成するという温情を切願する次第です。幸にして創刊以来、手前味噌ですが、私共の最も身近かな情報誌として裨益される点が多いことを感じます。ますます皆に愛され親しまれて次号の発刊を待望されるような魅力あるものに皆で育てたいと念願いたします。

▼毎号「京橋の印刷」の巻頭に京橋地区の古跡が写真で紹介されていますが、古きを尋ねて新しきを知る「温故知新」の言葉を想い起します。歴史の流れの中に於て先人達が如何に叡智を傾け、努力献身されて当時の世代に灯を掲げたかを思索するとき改めて感動を覚えるものがあります。斯る賢人、偉人或は名所旧跡に深い縁故のある京橋地区で生業を営む者として「温故知新」をもっと掘り下げて吟味し、今日の厳しい多端な毎日の糧としたいと希うこの頃です。(小山)

三 菱 製 紙 特 約 店  
日 本 パ ル プ

株式会社 三和洋紙店

本 社 東京都中央区入船3丁目4番1号  
電話 東京 (552) 2731番 (代表)

親しみをこめたおつきあい



文化産業信用組合  
京橋支店

理事 湯 浅 時 夫  
支店長

東京都中央区八丁堀 4-13-1 ☎551-9625(代) 104